医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	多孔性心房中隔欠損症に対する経皮的心房中隔欠損閉鎖術の方法と治療成績向上のための研究
研究責任者	聖隷浜松病院 小児循環器科 井上 奈緒
研究実施体制	聖隷浜松病院 小児循環器科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2030 年 12 月 31 日
対象者	2020年6月から2026年12月までに聖隷浜松病院小児循環器科に入院し、経皮的心房中隔欠損閉鎖術を受けた患者さん。
研究の意義・目的	多孔性心房中隔欠損症に対しする経皮的心房中隔欠損閉鎖術は、閉鎖栓の数や留置方法の判断が困難です。経皮的治療を断念し開胸手術を選択せざるを得ない症例や、残存短絡を残す症例も経験します。特に残存短絡を残した場合には追加治療を必要とすることもあります。多孔性心房中隔欠損症に対する経皮的閉鎖術の治療成績を向上するために、当院で経験した症例を後方的に検討します。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行い、後方視的に検討します。 年齢、性別、身長、体重、心エコーデータ、カテーテルデータ、閉鎖栓治療記録から、心房中隔欠損孔の数、大きさ、形、位置関係、使用閉鎖栓、治療成績（治療の成否、残存短絡の有無、合併症）
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 小児循環器科 （氏名）井上奈緒 TEL:053-474-2222（代表） 小児科外来 9:00～17:00 平日

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会

（研究承認番号： 5318 ） 2026 年 11 月 18 日承認